

患者さんご本人による意思決定支援に関する指針

当院では、患者さんご本人（以下、ご本人）が、将来に向けて望む医療や介護の治療・ケアについて、最善の選択をして自分らしく生きることができるように、ご本人と繰り返し話し合いを行います。

ご本人が、自分自身の治療について選択するにあたり、考え得る選択をわかりやすく十分な説明を行う時に、ご本人の意志を尊重し、最善の選択ができるようサポートします。

そしてご本人が、自分自身の状態、病気や治療をどう理解されているか、療養生活についてどのような意志を持っているかについて、当院以外で患者さんをサポートする他職種（訪問看護師、ケアマネージャー、歯科医師、薬剤師、ヘルパー、ソーシャルワーカーなど）による、医療・ケアのチームとも、十分に話し合いを行います。

ご本人の気持ちはその時々で揺れ動くことを前提に、お聞きした内容、話し合った内容は、その都度診療記録に記載し、医療・ケアのチームと情報共有します。そして、ご本人の意志を中心に、チームで支援をします。

特に、人生の最終段階においては、どのような治療・ケアを選択するかについて、ご本人と繰り返し話し合いを続け、望ましい選択ができるようにサポートします。

話し合いを踏まえたご本人の意思決定を元に、医療・ケアの開始、不開始、内容の変更、中止を医療・ケアのチームにより慎重に判断します。

もし、ご本人の意思が確認できない場合は、厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」（2018）にのっとり、ご本人にとって最善の方法を選択します。

- ① 家族等が本人の意思を推定できる場合は、その推定意思を尊重いたします。
- ② 家族等が本人の意思を推定できない場合は、本人に代わる者として家族等と十分に話し合いを行います。
- ③ 家族等がない場合や家族等が医療・ケアチームに判断を委ねる場合は、チームで十分に話し合います。

2022年8月1日
名南病院 院長